関連部署にご回覧ください
実務セミナー

日刊工業新聞社

わかりやすく、すぐに役立つ図面の基礎を習得していただきます!!

設計意図を伝えるテクニック　Level 2

20名限定セミナー

幾何公差 はじめの一歩

日時 2018年 1月 24日（水）
10：00～17：00

主催 日刊工業新聞社

定員 20名

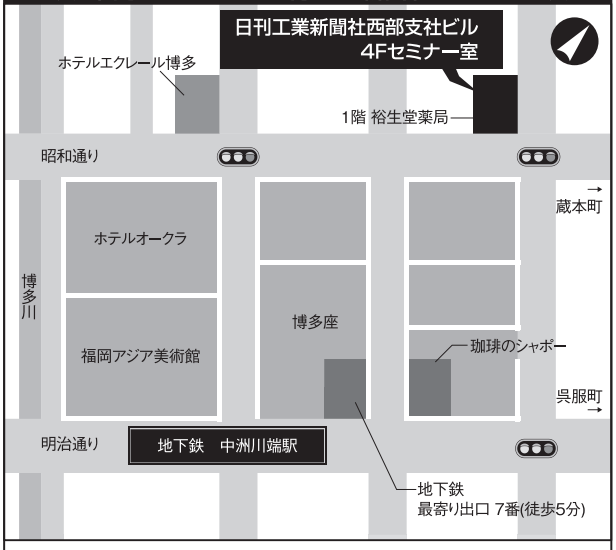
会場 日刊工業新聞社 西部支社
4Fセミナー室
福岡県福岡市博多区古門戸町 1-1

受講料 43,200円
（テキスト代・昼食含む、消費税込）
＊1社複数名のご参加の場合、2人目より38,880円

受講対象

製図力を強化したい技術者。現場の加工者や生産技術、計測・検査担当者など幾何公差の盛り込まれた図面を読む立場の方。

会場案内図　日刊工業新聞社セミナー会場



【アクセス】福岡市営地下鉄『中洲川端駅』7番出口 徒歩5分

日刊工業新聞社 西部支社 4Fセミナー室
福岡市博多区古門戸町1-1
【アクセス】
福岡市営地下鉄『中洲川端駅』7番出口 徒歩5分

●申込方法

お申し込みはWeb（http://corp.nikkan.co.jp/seminars/）かFAXまたは郵送にて受け付けております。申込受付後、受講票と請求書をお送りいたします。受講料は銀行振込にて開催日までに必ずお支払いください。尚、お支払い済みの受講料はご返金できかねますので、ご了承ください。振込手数料は貴社でご負担ください。

口座名義				
㈱日刊工業新聞社 西部支社	福岡銀行	博多支店	当座	10795
	みずほ銀行	福岡支店	当座	7057

●申 込 先　日刊工業新聞社西部支社 業務部イベント担当
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町1-1
TEL 092-271-5715　FAX 092-271-5881
E-mail:kouen@media.nikkan.co.jp

受講申込書

1/24 幾何公差　はじめの一歩

お申し込みは FAX 092-271-5881

■受講料：43,200円（テキスト代・昼食含む、消費税込）＊1社複数人数で参加の場合、2人目より10%割引いたします（38,880円）　※振込手数料は貴社にてご負担ください。

会社名		業種	
氏名	フリガナ	部署・役職	TEL
所在地	〒		FAX
E-mail：		※今後、E-mailによるご案内を希望しない方はチェックをしてください。	□

※お申込み受付後、受講票ならびに請求書をお送りいたします。
※一度お振込みいただいた受講料につきましては、ご返金できかねますのでご了承ください。

個人情報の取り扱いについて
ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。
なお、宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。　【ご連絡先】日刊工業サービスセンター　情報事業部　nkmail01@nikkansc.co.jp

参加のおすすめ

2016年にJISによって次のような提言がありました。『幾何公差が適用されてはじめて解釈に一義性が保証されるが、日本では位置の寸法にも現状の意味での寸法公差を適用する図面例が多く見受けられる。こんな状況を今後も看過するなら、日本人が描いた図面は海外では通用しないものとなり、日本の技術力に信用及び国際性がなくなってしまう可能性が大きくなることは必至である』と。

つまり、グローバルに適応する図面は、機能上、重要な長さや直径はサイズ公差で表現し、機能上、重要な位置は位置偏差で表すべきというものです。

このように、幾何公差を使って図面を描き公差検討することを「GD&T（Geometric Dimensioning & Tolerancing, 幾何公差設計法）」といいます。

本セミナーでは、GD&Tによる品質保証システムを構築するための基本である幾何公差のルールと解釈を幾何公差初心者の方にもわかりやすく解説いたします。

プログラムと講師

【講師】

（株）ラブノーツ／六自由度技術士事務所　代表取締役
技術士（機械部門）　**山田　学** 氏

【略歴】1963年兵庫県生まれ。カヤバ工業（現KYB）自動車技術研究所にて、電動パワーステアリングとその応用製品（電動後輪操舵E-HICASなど）の研究開発に従事。グローリー工業（現グローリー）設計部にて銀行向け紙幣処理機の設計や、設計の立場で海外展開製品における品質保証活動に従事。06年4月に独立し、機械製図や機械系国家資格受験の指導、および執筆活動を行っている。主な著書に「図面って、どない描くねん！」「図面って、どない描くねん！LEVEL2」「図解力・設計力おちゃのこさいさい」（日刊工業新聞社）など多数。
なお、機械技術者のための情報サイト「Lab notes by 六自由度」はhttp://www.labnotes.jp

1. サイズ公差と幾何公差の違いとは

（1）独立の原則を理解する

（2）加工のバラつき・計測のバラつきを知る

2. 幾何公差の基本「データム」とは「幾何特性」とは

（1）データムの記入方法（図示方法）
いろいろな指示方法を知ることで作図の迷いを払拭する

（2）データムの優先順位

（3）加工・計測とデータムの関係

（4）幾何公差が規定する形体

（5）公差記入枠の記入法

3. カタチを制御する　～形状偏差の理解～

形状偏差、6つの種類

・真直度
・真円度
・線の輪郭度
・平面度
・円筒度
・面の輪郭度

あるべき形状を規制するのが形状偏差

【演習】形状偏差の正しい作法、誤った作法を理解する

4. 傾きを制御する　～姿勢偏差の理解～

姿勢偏差、5つの種類

・平行度
・直角度
・傾斜度
（・線の輪郭度）
（・面の輪郭度）

あるべき角度と形状を規制するのが姿勢偏差

【演習】姿勢偏差の正しい作法、誤った作法を理解する

5. 位置を制御する　～位置偏差の理解～

位置偏差、5つの種類

・同軸（心）度
・対称度
・位置度
（・線の輪郭度）
（・面の輪郭度）

あるべき位置、形状、姿勢と共に規制するのが位置偏差

【演習】位置偏差の正しい作法、誤った作法を理解する

6. 振れを制御する　～振れ偏差の理解～

振れ偏差、2つの種類

・円周振れ
・全振れ

軸を回転させたときの表面形体の振れを規制するのが振れ偏差

【演習】振れ偏差の正しい作法、誤った作法を理解する

※筆記用具をご持参ください。